

政策調査情報

連合北海道 総合政策局

連合北海道エネルギー・環境政策委員会 第3回小委員会を開催

連合北海道エネルギー・環境政策委員会は1月24日、札幌市内で第3回小委員会を開催した。今回の学習テーマは、現在成案に向けて検討されている「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画」について道の担当者から説明を受け、理解を深めた。

また、小委員会では当面の委員会開催日程・内容、2月に北海道が実施する平成23年度北海道原子力防災訓練の調査活動の実施についても確認した。

■学習会

「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画」骨子(案)について

○講師

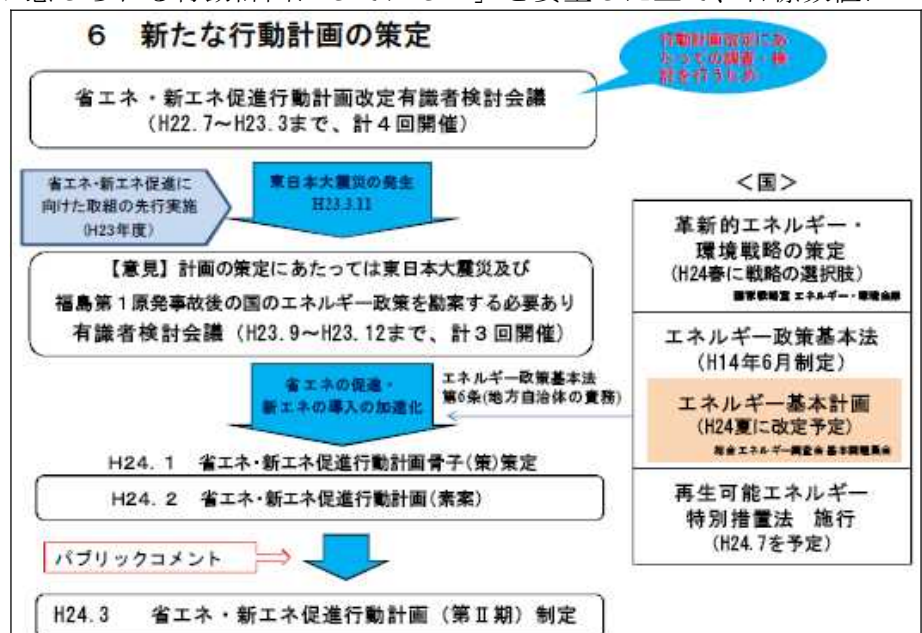
北海道経済部産業振興局環境・エネルギー室
室長 竹内 秀幸 氏

学習会では、竹内室長が再生可能エネルギーに関してポテンシャルの高い北海道として、太陽光発電や風力発電などの新しいエネルギーをどう取り入れていくのかをはじめとして、1月の道議会産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会に示した「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画」骨子(案)を基に説明した。竹内室長は計画推進の基本的な考え方として①エネルギー需要家の意識改革、②多様なプロジェクトの早期実現、③エネルギーの地産地消の促進、④民間活力の積極的な活用、をあらたに掲げ、実現に向けては現在、検討を進めている「北海道環境産業振興戦略」との一体的な展開によって省エネ・新エネの導入促進をはかりたいと説明。特に、地域と地域の連携、地域と北海道の連携を強めて自治体や事業者、非営利組織での取り組みを支援したいと強調した。なお、目標数値については国の「エネルギー基本計画」をふまえて設定すると述べた。

平成22年度を最終年とする現行計画の改定は当初、昨年3月末までに終える予定だったが、福島第一原子力発電所の事故によって国のエネルギー政策の見直し検討が行われることとなったため、あらたな視点での検討を重ねてきたもの。今後は2月に素案が出され、パブコメの後、3月末までには制定したいとしている。

竹内室長の講演を受け、出席者との質疑・意見交換が行われた。助言者として同席いただいた北海道グリーンファンドの鈴木亨事務局長は「道民、事業者、自治体はもとより、日本、世界に向けた新たなメッセージ性が感じられる行動計画にしてほしい」と要望した上で、目標数値については、「北海道の膨大なポテンシャルを活かした数値とすべきだ」と指摘するとともに、ファイナンス促進の支援が必要だとして、「オール北海道体制」に金融機関を入れるよう求めた。また、「企業誘致もいいが、道内経済の活性化や道民の利益を考え、地元事業者の取り組み支援を」と考えを述べた。この他、各委員からも質問、意見が出された。

※小学習会の詳細な内容は後日、各組織に送付予定。



■今後の委員会日程と内容

○第3回エネルギー・環境政策委員会

日時 2012年2月8日(水)13:30～16:30
場所 ホテルポールスター札幌 2階「コンチェルト」
内容 1)学習会

グリーン・エコノミーと北海道のエネルギー政策

講師 北海道大学 教授 吉田 文和 氏

2)主な議題

①再生可能エネルギーの導入促進・省エネの推進に向けた北海道の提言(案)

○第4回小委員会

日時 2012年2月23日(木)10時～13時
場所 ホテル札幌ガーデンパレス
内容 1)原子力発電の運転再開に向けた連合北海道の考え方について
2)中間整理に向けた意見交換

■平成23年度北海道原子力防災訓練の調査活動を実施

道は東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故を受け、原子力防災計画の見直し作業をすすめているが、平成23年度の原子力防災訓練を2月13日に実施することを決めた。訓練内容は福島第一原子力発電所事故で顕在化した様々な諸課題の一部を想定し、現行の原子力防災計画に基づくものとなっている。

連合北海道は昨年11月に実施した現地調査をもとに、1月20日に「原子力防災計画の見直しに係る提言」を北海道へ提出したが、今後本格化する原子力防災計画の見直しに伴う政策反映のため、道が実施する平成23年度原子力防災訓練の調査、検証活動を実施することとし、以下の通り構成組織や地協からの参加を呼びかけている。

1. 調査日

2012年2月13日(月)

2. 調査実施概要

(1)重点とする調査項目

- ①オフサイトセンターの代替施設への移転
- ②避難道路の確保
- ③緊急時通信連絡

(4)日程と行動内容

2月12日(日)午後 札幌集合→事前打ち合わせ(岩内町)、現地泊

2月13日(月)調査活動、総括会議(倶知安町)

※集合解散について

- ・団体行動のため、後志地協以外の参加者は札幌集合・解散とする。
- ・後志地協は別途相談。

3. その他

(1)参加費

12,000円(宿泊・懇談会費)

(2)移動

連合北海道ワゴン車、レンタカー

〈平成23年度北海道原子力防災訓練の概要〉

- 実施日時 2012年2月13日(月)9時～15時
- 実施場所 泊村、共和町、岩内町、神恵内村、倶知安町(後志総合振興局)、札幌市(道庁)、東京都(経済産業省他)など
- 事故想定 北海道電力泊発電所3号機における1次系冷却材の漏えい
- 訓練の目的 ①緊急時における防災関係機関相互の連携、協力体制の確認
②防災業務担当者の防災技術の向上
- 主な訓練内容 ①緊急時通信連絡訓練 ②オフサイトセンターの代替施設への移転訓練
③避難道路の確保訓練

